

PCAPS 研究会・QMS-H 研究会合同シンポジウム

平成20年度 最終成果報告シンポジウム

【患者状態適応型パス統合化システム(PCAPS)】

医療における臨床知識・技術と質マネジメントの融合

- 臨床知識構造化手法 PCAPS の可能性をさぐる -

プログラム

日時：2009年3月7日(土) 10:00～17:30 終了予定 (途中昼休憩1時間)

会場：東京大学本郷キャンパス安田講堂

はじめに

質の高い製品・サービスを提供するためには、固有技術とそれを活かす管理技術の双方が必須です。本シンポジウムでは、医療の質・安全保証を実現するための、医療分野に固有の臨床知識技術の可視化・構造化・標準化・電子化(IT化)、およびそれらの知識・技術を組織的に活かす質マネジメントシステム(QMS)モデルの構築に関する研究成果を報告するとともに、これら両者の融合が医療の質保証に大きく寄与する可能性について議論いたします。

本日は、臨床知識を構造化・標準化した多様な PCAPS コンテンツをご紹介するとともに、それら電子コンテンツを実際の医療現場で活用していくための強力な支援システムである PCAPS 統合化システムの開発状況を報告いたします。

PCAPS 研究会の活動は5年が経過しました。2005年3月の第1回目成果報告シンポジウムから数えると本日で5回目のシンポジウムとなります。この間に、PCAPS コンテンツ構造モデル構築・領域別コンテンツ設計・標準化手法開発・電子コンテンツ開発・統合化システム開発・実装支援組織活動としての PCAPS-IMT コンソーシアム設置、等々と、医療現場で実活用していただくための諸活動を展開してまいりました。多くの医療者が自発的・ボランティアに参画し、この活動を支えています。それが、医療の質・安全保証のための臨床プロセス標準化活動にとって、もっとも重要なことだと考えています。

2009年3月7日

PCAPS 研究会 代表：飯塚悦功

副代表：水流聡子・棟近雅彦

PCAPS (Patient Condition Adaptive Path System：患者状態適応型パス)

QMS-H (Quality centered Management System for Healthcare：医療における質中心経営管理システム)

主催：PCAPS 研究会，QMS-H 研究会，(社)日本品質管理学会(JSQC)医療の質・安全部会
東京大学大学院工学系研究科「医療社会システム工学寄付講座」

後援：日本規格協会(JSA)，PCAPS - IMT コンソーシアム

研究助成：厚生労働科研(がん研究若尾班)，日本規格協会(JSA)産学連携研究助成，
神戸先端医療センター知的クラスター，全国社会保険連合協会共同研究

午前の部

司会：棟近雅彦(早稲田大学)・水流聡子(東京大学)

10:00-

開会の挨拶

飯塚悦功 (東京大学)

10:10-

:患者状態適応型パスシステム(PCAPS)による臨床知識の構造化

水流聡子 (東京大学)

10:25-

:標準化に向けた検証調査の方法論

水流聡子 (東京大学)

- ・ 臨床プロセスチャート検証
- ・ ユニットシート検証
- ・ その他(標準化活動支援・各種臨床調査・学会調査等)

10:40-

:患者状態適応型パス統合化システム(PCAPS)開発プロジェクト報告

- ・ PCAPS-Builder (株)サイバーラボ
- ・ PCAPS-Administrator 京セラコミュニケーションシステム(株)
 ➤ PCAPS 実装デモ 成田淳 (長野中央病院)
 京セラコミュニケーションシステム(株)
 (株)ソフトウェアサービス
- ・ PCAPS-Analyzer (株)竹中工務店/技研商事インターナショナル(株)
- ・ 全体討論

12:30-13:30 昼休み

飯塚悦功・水流聡子・棟近雅彦監修 患者状態適応型パスシステム研究会編著
『医療の質安全保証を実現する患者状態適応型パス [電子コンテンツ 2008年版]』(日本規格協会)
定価：本体 4300 円(税別)



午後の部

司会：水流聡子(東京大学)・棟近雅彦(早稲田大学)

13:30-

：患者状態適応型パス(PCAPS)コンテンツ開発プロジェクト報告

(一般コンテンツ)各5分

- 循環器 山内 孝義 (水戸総合病院)
- 神経内科 進藤 晃 (大久野病院)
- 脳外科 勝田 俊郎 (北九州市立医療センター)
- 呼吸器内科 内山 真木子 (聖路加国際病院)
- 呼吸器内科(COPD) 鈴村 彬 (東京大学修士課程)
- 消化器外科 吉岡 慎一 (兵庫県立西宮病院)

(質疑応答)

14:10-

- がん領域 青儀 健二郎 (四国がんセンター)
- 精神科 東川 貞男 (石川県立高松病院)
- 訪問看護 佐野 袈裟美(千葉県訪問看護ステーション連絡協議会/みやのぎ訪問看護ステーション)
- 救急 織田 順 (東京医科大学)
- 小児科 藤原 優子 (東京慈恵医科大学病院)
- 泌尿器 田中 良典 (武蔵野赤十字病院)、永江 浩史 (聖隷三方原病院)
- 呼吸器外科 矢野 真 (武蔵野赤十字病院)

(質疑応答)

14:50-

(開発調査型コンテンツ)

- 生体肝移植 山田 貴子 (神戸先端医療センター)
- 川崎病 藤原 優子 (東京慈恵医科大学病院)
- 小児心疾患実態調査 梶野 浩樹 (旭川医科大学)

(質疑応答)

16:00-16:10 休憩

16:10-

：PCAPS 連携モデル開発プロジェクト報告

- ・ PCAPS 連携モデルの概要 鈴村 彬 (東京大学修士課程)
- ・ 前立腺がん連携 吉井 慎一 (水戸総合病院)
- ・ 慢性閉塞性肺疾患(COPD)連携 茂木 孝 (日本医科大学病院呼吸ケアクリニック)

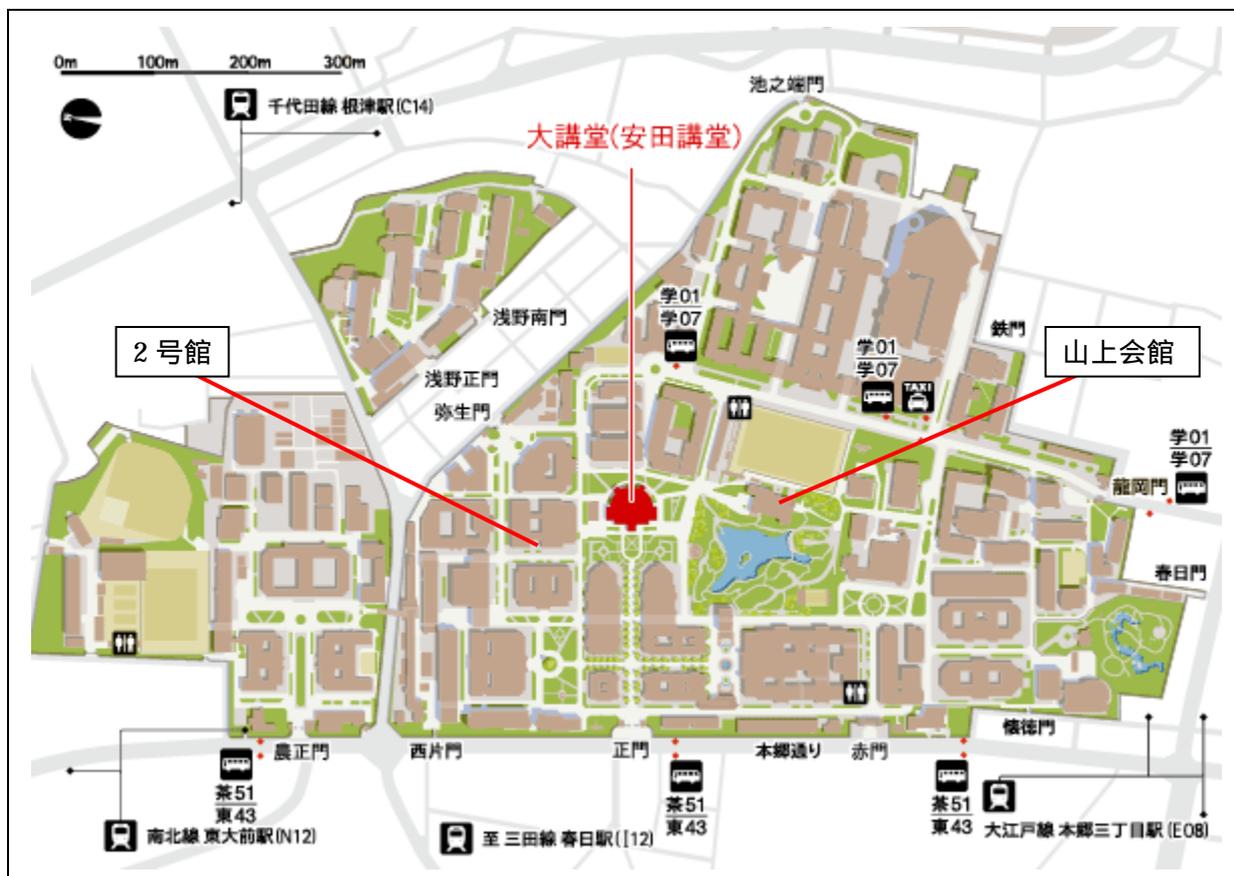
(質疑応答)

17:20-

：医療における臨床知識・技術と質マネジメントの融合に向けて

飯塚悦功 (東京大学)

17:30 (終了予定)



【シンポジウム会場】

本会場：東京大学本郷キャンパス 安田講堂
 研究会メンバー用昼食会場：工学部2号館2階 セミナー室1、3、4号室
 研究会メンバー・関係者の懇親会会場：山上会館 地下食堂

シンポジウム運営組織

主査	飯塚悦功(東京大学・大学院)	
副査	水流聡子(東京大学・大学院)、棟近雅彦(早稲田大学理工学術院)	
運営 スタッフ (50音順)	< PCAPS 事務局 > 加藤 省吾(東京大学・大学院) 金子 雅明(早稲田大学 理工学術院) 小柴 研一(東京大学 共同研究員) 佐藤 典子(東京大学・飯塚・水流研スタッフ) 佐野 雅隆(早稲田大学博士課程) 下野 僚子(東京大学博士課程)	石塚 渉(東京大学修士課程) 内山 健太郎(東京大学修士課程) 鈴木 彬(東京大学修士課程) 吉田 剛(東京大学修士課程) 吉崎 祐介(東京大学修士課程) 藤井 健人(東京大学修士課程) 吉田 隆宏(東京大学修士課程) 原田 美沙子(東京大学工学部) リュウ・ティン(東京大学工学部)

問い合わせ先：
 PCAPS 事務局
 E-mail：Office_PCAPS@umin.ac.jp
 TEL：03-5841-7301 FAX：03-5841-7276
 本研究事業HP：<http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/index.html>

注意：カメラ撮影はご遠慮ください。PCAPS は各種特許申請済みです。